

ヤギのオーガニックコットンが  
またひとつ、確かなものに。



# Cotton **iD**

Organic Cotton project

農場まで追える独自のトレース管理

=YAGI=

# ほんとうに信頼できる・安心できる オーガニックコットンであるために。



**Cotton ID**  
Organic Cotton project

日本有数のオーガニックコットン取扱量を誇る繊維商社として、「人にも環境にもやさしい糸」を追求してきたヤギ。このたび、世界最大級のオーガニックコットン紡績工場との長年にわたる協力関係を活かし、新たなトレーサ管理「Cotton ID」を構築しました。

## 「農場から糸まで」独自のトレーサ管理を実現

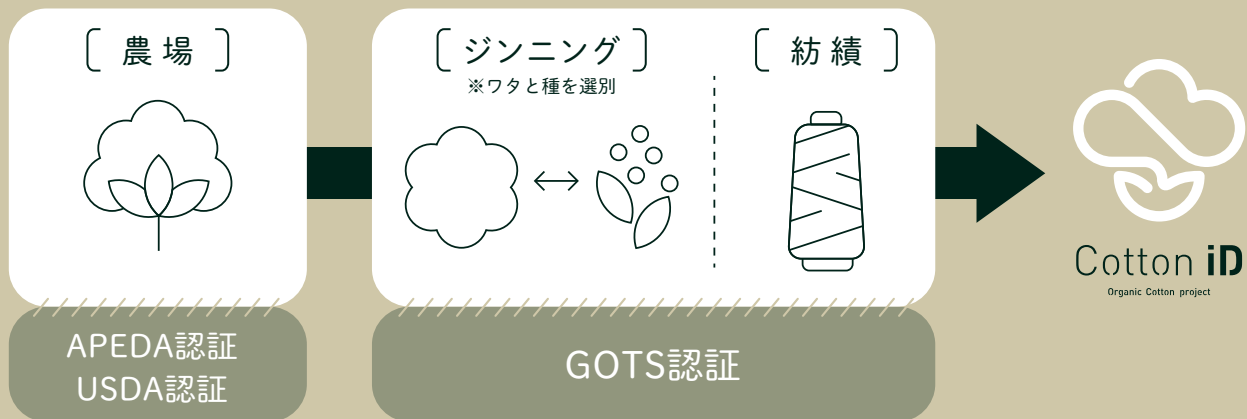
オーガニックコットンの国際基準であるGOTS<sup>(※1)</sup>は、綿花がジンニング工場に運ばれてから製品になるまでの過程をトレーサすることはできますが、その審査範囲には農場が含まれていません。

そこでCotton IDでは、農場についても、

インドのAPEDA<sup>(※2)</sup>によるNPOP<sup>(※3)</sup>やアメリカのUSDA<sup>(※4)</sup>によるNOP<sup>(※5)</sup>によって

トレーサを管理。農場から糸まで、切れ目なくつながる独自のトレーサ管理を

実現することにこだわりました。



※1 GOTS…Global Organic Textile Standard 繊維製品におけるオーガニックの世界基準と認証

※2 APEDA…インドの農産加工食品輸出開発庁

※3 NPOP…APEDAによるヨーロッパ基準有機生産プログラム。3年以上無農薬生産(2年以上3年未満はIn Conversion)

※4 USDA…米国農務省

※5 NOP…USDAによる全米基準有機生産プログラム。4年以上無農薬生産(In Conversion制度無し)

ヤギが取り扱うオーガニックコットン糸の85%以上<sup>※</sup>について  
Cotton IDによるトレーサビリティが実現可能です。

※2022年実績